



Uターン就活体験談

R. H. さん

2022年3月卒業予定（男性）

就職先：インフラ（電力）、事務系総合職

Q1. Uターン就職を考えきっかけや、Uターン就職の経緯（Uターン就職を決めた時期など）を教えてください。

都会の便利さ・楽しさを知ったこと、都市圏にある企業の方が比較的年収が高いことから、2回生まではUターンはしたくないと考えていました。しかし、自己分析で「私は周囲のためになら頑張れる」と分かり、私が社会人人生をかけて貢献したい周囲とは誰なのか、改めて考えました。その答えが、地元の人だったことがきっかけでUターンを決めました。また、地元で結婚し子育てをしている友人を見て、私も地元であたたかい家庭を築きたいと感じたことも理由の1つです。

Q2. 就活の流れについて、インターンシップや合同企業説明会への参加はありましたか。

夏インターンは香川県内外、様々な企業に参加しました。自己分析の時点でUターンを考えていたのに、県外企業のインターンにも参加した理由は、夏の時点で選択肢を絞ってしまうことが不安だったからです。また、第1志望だった電力会社は、地域に1社しかいないため、他地域の電力会社のインターンに参加することで業界全体への知識を深めていきました。（ちなみに内定をいただいた企業はすべて夏インターンに参加した企業でした。）秋・冬頃には、志望理由や志望部署を自分の言葉で言えるようにしたいと考え、社員訪問や合同説明会で情報を集めました。また、私の大学には、香川県の企業に就職したOB・OGの名簿がなかったので、地元の知り合いを辿ったり、人事部に直接OB・OGの紹介をお願いしました。その後、冬インターンに参加し、春から選考が始まりました。

Q3. 就活で大変だったことや悩んだことは何ですか？Uターン就活だから大変だったこともあれば教えてください。また、それらをどのように乗り越えましたか。

選考の合否連絡に関して、自分と他の学生を比べすぎてしまうことに悩みました。オープンチャットや就活情報サイトなどで、他の学生の選考フローや面接の合否が分かっています。自分にはまだ連絡が届いていない場合、不採用かもしれないと、それらの情報を見て無駄に焦ってしまうことが多々ありました。遊びに行ったり面接

練習等をして気を紛らわしていましたが、面接後は就職活動に集中できませんでした。そもそも、そういった情報を見すぎないことも、大切かもしれません。

Uターン就活だから大変だったことは、自分の就職活動の軸をすべて満たしている企業が限られてしまうことです。なぜなら、都市圏に比べて香川県の企業数は多いとはいえないからです。そこで、就職活動の軸の優先順位を考え、1番大切だと思った軸に合う企業のインターンや説明会にはとりあえず参加するようにし、食わず嫌いをしないようにしました。

Q4. 「香川県大阪事務所」や「ワークサポートかがわ」をどのように利用しましたか。また、利用してみてどうでしたか。

香川県大阪事務所で、インターンから内定承諾までの相談・面接練習・ES添削をしていただきました。大学のキャリア支援室と比較して、1対1でじっくり指導してくださる上に、香川県の企業に詳しいので頼りになりました。改めて添削前のESを見ると、あのまま提出しなくてよかったとほっとします。

また、私の就職活動のすべてを把握してくださっている方に、いつでも相談できる環境があることは心の支えでした。面接の結果をメールで報告すると、毎回電話をくださり、とても励まされました。さらに、対話を通して自分でも知らなかった長所を言語化してくださったり、面接での癖を指摘してくださったり、客観的な意見をいただくこともできました。

Q5. Uターン就職を考えている後輩へのアドバイスをお聞かせください。

香川県の企業だけでなく、都市圏の就職活動の意識が高い学生が集まる企業の選考に参加し、揉まれてみることはおすすめです。長期インターンに参加している方、強烈なガクチカを持っている方、起業を考えている方など様々な学生に会え、刺激をもらえるからです。また、本命企業の選考の練習にもなると思います。

最後になりましたが、皆さんもUターンして一緒に香川県を盛り上げていきましょう！